

Under the Baobab Tree

African
Wire &
Beads Art

— ワイヤーとビーズがつむぐ物語 —



2026.

10/2(金) - 12(月祝)

10:00-18:00 観覧料: 無料

※10月5日(月)休館 ※10月12日(月祝)開館

会場: 宝塚市立文化芸術センター
(たからば)1階キューブホール



Under the Baobab Tree

African Wire & Beads Art

— ワイヤーとビーズがつむぐ物語 —



出品作品「ケープハゲワシ」
(前回の展示風景 / 2024年)

一本のワイヤーがいのちの輪郭を描き、
一粒のビーズが個の存在を輝かせる。
そして、新たな物語をつむぎだす。

アフリカの大地に悠然と根を張るバオバブの木。
その木の下には人々や野生動物が集い、
世代を超えて受け継がれてきた記憶と物語があります。
アフリカで育まれたワイヤー&ビーズアートは、
一本のワイヤーと一粒のビーズから、多彩ないのちや風景、
人々の息づかいを映し出します。
本展ではバオバブの木の下に集ういきものたちの作品を通して、
違いを越えて響き合う豊かなつながりを表現します。
また、翼開長約3メートルのケープハゲワシが
2年ぶりに宝塚に舞い降ります。（※展示作品は一部をのぞいて購入可能）



ZUVALANGA is Kitamado Erika & Ryohei

公式サイト

ZUVALANGA
Spirits of Africa
(ズワランガ)



南アフリカ共和国ヨハネスブルグ滞在中に出会ったジンバブエ人アーティスト達と交流を重ね、アフリカンワイヤー&ビーズアートを学び始める。2015年日本帰国後、「ZUVALANGA」として大阪を拠点に活動を開始。アフリカで出会った人々との繋がりや彼らへの想いを大切に、魅力あふれる多種多様ないきものの世界を、ワイヤーと多彩なビーズで表現している。

African Wire & Beads Art (アフリカンワイヤー&ビーズアート)

アフリカ南部ジンバブエでワイヤーアートとアフリカに古くからあったビーズ文化が出会い、「ワイヤー&ビーズアート」が生まれた。マーケットは南アフリカにも広がり、多くのジンバブエ人アーティストたちが活躍し、その作品は、訪れる外国人観光客などに人気を博している。まだ新しいこのアートは生きる為の手段でもあるため、アーティストたちは技やアイデアを大切に守り、次の世代に伝えながら今日も活動を続けている。



『ZUVALANGA (ズワランガ)』はジンバブエのショナ語で太陽「ZUVA」、南アフリカのズールー語で太陽「LANGA」。いきものを美しく、力強く輝かせるアフリカの大地に昇る太陽をあらわしている。

ジンバブエ人アーティスト、プリビアス氏来日予定



プリビアス氏の作品



プリビアス氏

ギャラリートーク開催

ZUVALANGAとプリビアス氏によるギャラリートークを開催いたします。

10/3 (Sat) 14:00～1時間程度 会場：1階 キューブホール



宝塚市立文化芸術センター



公式
サイト



〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川1町7-64
TEL: 0797-62-6800 FAX: 0797-62-6880
<https://takarazuka-arts-center.jp/>



電車でお越しの場合

- ・JR「宝塚」駅・阪急「宝塚」駅から徒歩11分
- ・阪急「宝塚南口」駅から徒歩6分

自動車でお越しの場合

- ・[中国自動車道から]
中国自動車道「宝塚インターチェンジ」から西進2km
- ・[有馬方面から]
有馬街道を道なりに直進、大多橋交差点を右折し、
国道176号線を直進して、手塚治虫記念館方面へ

